

市民期待の市民病院予算を またもや自民党会派が否決

3月定例会市議会で削減された市民病院関連予算が17日、再度臨時市議会に提案されました。「市民病院を早く建設して」の世論を受け再提案されたものですが、自民党会派はこれまでの主張を蒸し返すだけでまたもや予算を否決。市民の切実な願いから乖離する市議会・自民党会派に対して市民から強い批判がでています。

**臨時市議会
5月17日**

野洲市の地域医療と市民の命と健康を守る 市民病院はどっしりしても必要です

反対ありきの自民党会派。市民の願いに背を向け否決

17日の臨時市議会の反対討論で北村・立入・稲垣議員らは、これまで5年間、市民・議会・行政とで議論を進めてきたにも関わらず、「コンセンサスがでない」などと本質から外れた批判に終始しました。反対であればもっと本質的で建設的な提案をすべきです。にもかかわらず、反対のため反対で否決したものです。

唐突、土壌汚染で立地不可能な三共製薬跡地での建設を主張？

これまで専門家が「現野洲病院敷地での建て替えは不可能」と検証結果を出していましたが、にもかかわらず現野洲病院での耐震化や建て替えを主張してきたと思えば、今回の議案審議では丸山議員から唐突に「駅前は駄目。野洲川の鈔先や三共製薬跡地（土壌汚染で不可）などで考えるべきだ」などと現実的に不可能と言われる主張を展開するなど不誠実かつ無責任な態度で

す。このような主張の背景には病院問題とは別の政治的意図が見え隠れしています。

野洲駅前での新病院建設に国が5200万円（全体で約10億円）の交付金を決定

市民病院建設に対して国交省から社会資本整備総合交付金の内示があり、平成29年度は5200万円が交付されます。さらに今後、建設費含む事業費21億円の50%分の交付金が予定されており、これにより約10億円の負担が軽減されます。

これは国がこれからの高齢化社会に向けて、駅前での市民病院建設を認め、交付金を決定したものです。

公立病院だからこそ市民の命と健康を守り地域医療を担うことができます

反対議員は「市民病院建設は国の公立病院改革プランに即していない」と反対しています。この改革プランなるものは公立病院の国の役割を放棄し、病院の統廃合と国の財政負担を削減するなど地域医療

を破壊するものです。

しかし安倍政権（総務省）ですら、公立病院の果たす役割について、「採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供する」としています。つまり、市民の立場に立つ医療を推進することを否定できないでいます。このことは国が社会資本整備総合交付金を決定したことを見ても明らかです。

野洲市民病院の建設は市民の切実な願いに沿って世論と運動が進められてきました。駅前建設の条件を生かし、新病院計画では開業医と新病院との連携。高齢化のなか回復期とリハビリ病床を99床にしますが、これは滋賀県の医療構想でも野洲市民病院の必要性を述べています。さらに医療面だけでなく、地域包括支援センターを併設し、在宅医療をサポートするなど医師会からも期待されています。

このように公立病院だからこそ市民の命と健康を守ることができます。野洲市民病院の建設は市民の切実な願いでありどうしても必要です。

**6月定例会は6月8日からです
ご意見やご要望をお寄せください**

6月定例会市議会は6月8日より29日までの会期で解されます。暮らしの要求やご意見をぜひともお寄せください。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2017年5月21日 No.299

**市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください**

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
太田健一 近江富士 2-11-25 (電話・FAX) 588-3169
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索